

## きもの等を扱う雑誌への純国産絹製品に関する記事掲載について(一般公募)

平成25年6月24日

財団法人大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター

財団法人大日本蚕糸会は、平成20年2月から蚕糸・絹業提携支援センター（以下「支援センター」という。）を設置し、蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業（以下「本事業」という。）に取り組んでいるところです。

今般、きもの等の純国産絹製品の魅力を消費者等に対してに広く普及するため、本事業で取り組んでいる純国産絹マークの紹介（PR）や純国産絹製品を製作する過程等を内容とする記事を、きものを扱う雑誌の誌面に掲載（以下「誌面掲載」という。）することとし、この業務を一般公募により実施することと致しました。本業務の請負を希望する方は、下記によりご応募下さい。

### 記

#### 1. 誌面掲載業務の目的

本事業は、国内の生産量が極めて少なくなり、このままでは消滅が危惧される段階に至った国産の繭・生糸の維持・発展を図るため、絹製品の生産・販売に携わる蚕糸・絹業関係者がグループを形成（以下「提携グループ」という。）して、国産の繭・生糸を使った魅力ある純国産絹製品をつくり、それを消費者から高い評価を得て購入していただき、繭・生糸、絹織物等の生産関係者、問屋・小売店等の流通関係者がそれぞれ再生産可能な収入が得られるようなシステムを構築することをねらいとして始められたものです。

25年3月末現在、56の提携グループが純国産絹製品の生産・販売に取り組んでおり、全国の繭生産予定量の全量を、これら提携グループが消費することとなっています。すなわち、この56の提携グループのみが純国産絹製品を生産・販売をしており、純国産絹マークの使用許諾者もこれらの提携グループの関係者で、現在180業者が許諾を受け、着実に増加してきていますが、純国産絹製品の需要を一層拡大するには、純国産絹マーク等について消費者に対して更に幅広く普及していくことが緊急な課題となっています。

このため、絹需要量の約8割が和装であること、きもの愛好家の多くがきもの専門雑誌の読者であること等を踏まえ、きものを扱う雑誌に、純国産絹マークの紹介（PR）や純国産絹製品の魅力等についての記事掲載業務を一般公募するものです。

#### 2. 誌面掲載業務の内容等

(1) 掲載記事の内容(以下の内容について、単独又は複合的・総合的に取りあげる。)

① 提携グループが生産・販売する純国産絹製品の紹介

- ・ 提携グループが生産・販売する純国産絹製品の紹介（特徴・魅力等）
- ・ 繭生産の現場、糸づくりの現場、染・織の現場等の紹介
- ・ 消費者の声

② 純国産絹マークのPRに関する内容

- ・ 純国産絹マークの紹介

③ 蚕糸・業提携グループ全国連絡協議会が開催する「純国産絹(宝絹)展」の紹介

- ・ 本年度全国3カ所（札幌、横浜、東京銀座）で開催予定の絹展のPR

④ その他（工房等が生産する純国産絹製品等の等）

- (2) 掲載記事のボリューム（頁）  
雑誌への誌面掲載のボリューム（頁）は、A4規格6頁以上
- (3) 刊行する雑誌  
平成26年1月末日までの雑誌（〇〇号）に掲載
- (4) 誌面掲載業務に係る予算額  
大日本蚕糸会の請負業務として実施（誌面掲載企画書の内容により、別途相談事項とします。）

### 3. 誌面掲載業務実施のスケジュール(案)

- (1) 公募開始 6月24日（月）
- (2) 内容説明会 日時：6月27日（木） 14：00～  
場所：財団法人大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
- (3) 公募締切 7月3日（水）17時必着
- (4) 書類審査及びヒアリング 7月初旬
- (5) 採択・契約 7月中旬
- (6) 事業開始 契約締結日以降（7月中旬を予定）
- (7) 実施期間 平成25年7月中旬～平成26年1月末日

### 4. 応募の内容

- (1) 応募資格
  - ① きもの等を扱う雑誌の発行実績のある社(法人)又はきもの等を扱う雑誌。きもの等の宣伝を取り扱った実績のある広告代理店であること。
  - ② 誌面掲載に係る業務の実施体制、管理体制等が整備できていること。
  - ③ 支援センターから提示された業務請負契約書に合意できる法人であること。

#### (2) 応募方法

下記(3)の誌面記載企画書を、平成25年7月2日(火)までに、郵送（必着）又は持込みにより、下記あて提出する。なお、FAX や電子メール等での提出は受け付けません。

#### (提出先)

財団法人大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター  
東京都千代田区有楽町 1-9-4（蚕糸会館5階）  
電話 03-3214-3500 FAX03-3214-3511

#### (3) 誌面掲載企画書の提出

（誌面掲載企画書は、以下の①～④の4点について記述・ファイルし、2部提出）

- ① 誌面掲載企画書表紙（社判と代表者印を押印のこと）：別紙様式

- ② 誌面掲載記事の概要 : 様式自由  
(記載に当たっての留意点)  
ア 掲載する記事の構想等  
・ 掲載する記事の構想(テーマ等): ○○○  
・ 掲載誌 : 名称「○○○」○○号(発売予定日 年 月 日)  
・ 体裁 : カラー○○頁  
イ 掲載記事の内容の概要等  
ウ 業務を実施するための体制及び連絡先(部署、担当者、電話 番号等)  
エ きものを扱った記事の掲載など過去の実績  
オ その他特記事項
- ③ 業務実施の経費概算 : 誌面掲載費用は企画書の内容及び頁数等により相談事項とします。様式は自由
- ④ 掲載予定雑誌、発行数及び関連記事実績一覧 : 様式自由

## 5. 応募内容の審査及び選定結果の通知

### (1) 応募内容の審査・選定

応募案件の審査は、下記の評価項目に基づき総合的に評価します。

- ① 上記4の(1)の応募資格の要件を満たしているか。
- ② 上記4の(3)の誌面記載企画書に記載されている内容が、純国産絹製品の紹介や魅力をとらえたものとなっているか、純国産絹マークや純国産絹製品生産過程等の紹介(PR)の内容が、きものに関心のある消費者に分かり易く伝えるものとなっているなど、きもの消費者等へ純国産絹製品を普及するための媒体として、十分期待されるものとなっているか。
- ③ 上記4の(3)の誌面記載企画書に記載されている内容は、未発表のものであり、独自の創意工夫をこらした斬新的なものであるか。

### (2) 選定結果の通知・公表

選定結果は、選定作業が終了次第、選定された法人及び応募のあった法人の担当者に電話にて連絡します。審査の経過及び選定結果に対する個別の問合せについては応じません。

なお、今次応募に要する費用等は応募する法人の負担とします。また、提出された誌面記載企画書等の関係書類は返却しません。

本件に関する問合せ先  
財団法人大日本蚕糸会蚕糸絹業提携支援センター  
(安藤、佐藤、柳澤、羽田)  
東京都千代田区有楽町 1-9-4 (蚕糸会館 5階)  
電話 03-3214-3500 FAX03-3214-3511

企画書表紙：別紙様式

純国産絹マーク等に係る誌面記事掲載企画書

年 月 日

法人名称： ○ ○ ○  
○ ○ ○ ○ 印

代表者名： ○ ○ ○ ○  
○ ○ ○ ○ 印

所在地：

担当者連絡先

役職名

氏名

電話

FAX

E-Mail

所在地（連絡先が上記の所在地と異なる場合は、連絡先の住所を記載）

-----  
〈2ページ以降〉

誌面掲載企画書

1 誌面掲載記事の概要：（様式は自由としますが、以下の項目を簡潔に記述）

（記載に当たっての留意点）

- ① 掲載する記事の構想（テーマ、体裁、概要等）、掲載する雑誌の名称及び発行予定号数等について簡潔に記述
- ② 掲載記事の項目内容（ページ割り振り）の概要
- ③ 業務を実施するための社内体制及び連絡先（部署、担当者、電話番号等）
- ④ きものを扱った記事の掲載など、過去の実績
- ⑤ その他特記事項

2 業務実施の経費概算：様式自由

3 掲載予定雑誌名、公称発行数及び関連記事実績一覧：様式自由